

学生と地域社会の未来つくる大学に

年頭の抱負

石巻専修大学長 阿部 知顕



1989(平成元)年4月1日に石巻の地に建学された本学は、おかげさまでこの4月に創立38年目を迎えます。ひとえに皆さま方のご支援の賜物でありますこと、心より感謝申し上げます。

本学は2025年4月より、第2次

七つの行動目標

- ① 学生支援の強化による学生活動実績の向上
(活気あるキャンパスづくり)
- ② 地域連携による社会実装と地域教育の強化
- ③ 社会実践教育の全学的な拡充
- ④ 収容定員充足に向けた教学改革と入試改革の一体的な推進
- ⑤ 少子化を乗り越える魅力ある教育組織の新編
- ⑥ 教職協働の実現に基づく大学改革の推進
- ⑦ 財務の健全化に向けた対応

中長期ビジョン(25~29年度)に取り組んでおります。このビジョンは、第1次中長期ビジョン(20~24年度)から得られた成果と反省を基に、特に地方都市において激変する教育環境に適応しつつ、質の高い教育・研究を提供できる高等教育機関としての役割を確立すべく、将来を見据えた大学運営全般に関わる計画です。

本ビジョンは、左記の七つの行動目標の達成を目指しています。

現在、この組織目標に従う年次進行のロードマップ・行動項目に沿って、達成状況を評価しながら、内部質保証の活動(PDCAサイクル)を進めています。

わが国では、少子化の影響や若年層の人口流出が多く、地方都市で加速している現状を踏まえ、高

等教育全体の適正な規模を見据えた教育政策の展開が求められています。そのような環境下で、石巻圏域唯一の高等教育機関として永続的に存続するには、本学は真に市民の皆様が必要とされる大学でなければなりません。

【大学ブランドスローガン】

「地域に根差して 世界に尖った大学」

~地域とともに学生と地域社会の未来をつくり、社会から真に必要とされる大学を目指す~

そこで本ビジョンでは、ここまですでに本学が掲げてきた大学ブランドスローガン「地域に根差して世界に尖った大学」を継承しつつ、「学生を基本に据えた大学づくり」と「社会から真に評価される大学

への転換」を両輪に、地域とともに未来をつくる大学としてのサブスローガンを掲げています。

本学は、小規模ながらも多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動を重視しつつ、「社会知性の開発」を基盤として地域課題の解決に向けた教育研究活動を推し進めます。

学生の皆さんが地域社会の諸課題に積極的に取り組み、「ISHINOMAKI is CAMPUS」を体現する実践教育を展開してまいります。

本年も皆さま方のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

石巻専修大学

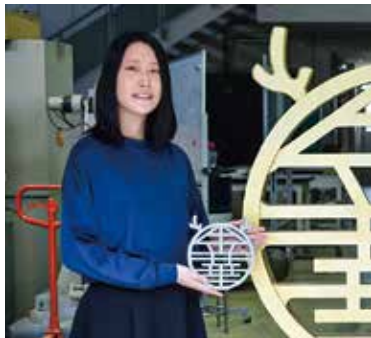
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。
QRコード

4年次生に聞く

卒業を控えた4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。



志賀 柚月さん

理工学部機械工学科

手書き文化を後世に

昔から筆記具、なかでもパイロットの製品が好きで、中学生の頃には「将来はパイロットコピーレーションに就職する」と心に決め、その目標を家族や友

人にも伝えていました。企業情報や募集職種を調べるなかで技術職に興味を持ち、必要な知識を学べる機械工学科に進学しました。

大学ではCADの学修に注力。普段の授業に加えて、資格取得(CAD利用技術者試験)に向けた勉強にも励みました。

学んだ技術を生かし、3Dプリンターを使って車の模型や小物ケースを製作するなど、ものづくりの楽しさを深く知ることができました。

高橋智准教授の3D設計・解

析研究室に所属。3Dプリンターのノズルを従来の丸穴から角穴に変更し、材料の積層時に生じる隙間を減らすことで強度を高める研究に取り組まれました。

機械工学という堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、石巻専大はアットホームな雰囲気、学修面だけでなく、就職活動の相談にも親身に対応してくれま

卒業後は、筆記具を通じて、手書き文化を後世につなぐことに貢献したいと思っています。

「宮城県気仙沼高、内定先II株式会社パイロットコピーレーション」

発表審査会(11月15日、仙台市khbのりホール)では、佐々木隼弥さん(4年次・宮城県



発表審査会に参加した佐々木真斗さん(左)と佐々木隼弥さん

実験に励む中込教授



「集積回路工学」などの授業を担当している。また、主宰する機能デバイス研究室では、次世代のパワー半導体用材料と

経営学部情報マネジメント学科の三橋勇太ゼミが石巻市と協働し、「第24回みやぎふるさとCM大賞」(khb東日本放送主催)の応募作品を制作した。

宮城県内の各自治体に参加するCMコンテスト。ゼミ生は約4カ月にわたり、企画、撮影、編集などに取り組んだ。素材に納得できず再撮影を行ったり、寝る間を惜しんで編集作業を続けたり、活動期間中は苦勞も多かったが、メンバー同士で議論を重ねながら30秒のCMを作り上げた。作品のタイトルは、『ただいま帰りたいくなる街』。

「世界のトップ2%の科学者」理工・中込教授が選出 次世代パワー半導体を研究

理工学部の中込真二教授が、世界のトップ2%の科学者を特定する包括的なリスト「World's Top 2% Scientists 2025」に選出された。

同リストは、アメリカのスタンフォード大学と国際的出版社であるオランダのエルゼビア社が2020年から毎年発表しているもので、22の研究分野と174のサブ分野で計5本以上の論文を発表している世界中の研究者が対象。文献データベースに基づき、論文の被引用数など複合的指標により評価、選出される。

中込教授の専門分野は、応用物理、結晶工学、半導体工学。本学では、今回評価された研究テーマは「ワイドバンドギャップ半導体を用いたデバイスの開発」。選出を受けて中込教授は、「リ

ボランティアサークル歩

稲井地域の祭りに参加



伝統の餅つき祝い太鼓を披露

ボランティアサークル歩(あゆむ)が、11月23日に行われた石巻市稲井地域の伝統的な祭り「稲井豊稔祭」に参加し、地域住民との親睦を深めた。

同サークルは地域密着型の活動を目的に2025年に発足。今回は運営などに加え、若者の担い手が不足している「餅つき祝い太鼓」のメンバーに加わり、地域の方と一緒に威勢のいいパフォーマンスを披露した。

出願受付中

★詳細はホームページで必ずご確認ください。

【一般選抜B日程】

試験日 2/26

出願期間 2/2日~19日 ※消印有効

【一般選抜C日程】

試験日 3/12

出願期間 2/19日~3/4日 ※消印有効

【大学入学共通テスト利用選抜B日程】

出願期間 2/2日~11日 ※消印有効